

## 議 事 録

会 議 の 名 称	第5回小美玉市小学校（小川小学校・橘小学校）統合準備委員会																																				
開 催 日 時	平成28年3月28日（月） 19時00分～																																				
開 催 場 所	小川総合支所 3階 大会議室																																				
出 席 者	<p>【出席委員】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>会田 正彦</td> <td>伊野 勝亮</td> <td>千葉 栄子</td> <td>川名 美佐</td> </tr> <tr> <td>代々木 孝</td> <td>岡根 典子</td> <td>竹内 文枝</td> <td>石田 進</td> </tr> <tr> <td>稲田 雅志</td> <td>柏 敬祐</td> <td>久保田輝男</td> <td>長谷川美智子</td> </tr> <tr> <td>檜山 章一</td> <td>平本 敏彦</td> <td>長島 功</td> <td>近藤 貞夫</td> </tr> <tr> <td>藤井 敏生</td> <td>笹目 雄一</td> <td>谷仲 和雄</td> <td>植木 弘子</td> </tr> <tr> <td>長島 主</td> <td>山中 光枝</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【欠席委員】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>高野 雄司</td> <td>新谷 大輔</td> <td>小島 健一</td> <td>笹木 倫代</td> </tr> </table> <p>【事務局】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>加瀬 博正</td> <td>長谷川正典</td> <td>皆藤 正造</td> <td>鈴木 定男</td> </tr> <tr> <td>比気 龍司</td> <td>小林 利英</td> <td>田山 伸一</td> <td>田村 直弥</td> </tr> </table>	会田 正彦	伊野 勝亮	千葉 栄子	川名 美佐	代々木 孝	岡根 典子	竹内 文枝	石田 進	稲田 雅志	柏 敬祐	久保田輝男	長谷川美智子	檜山 章一	平本 敏彦	長島 功	近藤 貞夫	藤井 敏生	笹目 雄一	谷仲 和雄	植木 弘子	長島 主	山中 光枝			高野 雄司	新谷 大輔	小島 健一	笹木 倫代	加瀬 博正	長谷川正典	皆藤 正造	鈴木 定男	比気 龍司	小林 利英	田山 伸一	田村 直弥
会田 正彦	伊野 勝亮	千葉 栄子	川名 美佐																																		
代々木 孝	岡根 典子	竹内 文枝	石田 進																																		
稲田 雅志	柏 敬祐	久保田輝男	長谷川美智子																																		
檜山 章一	平本 敏彦	長島 功	近藤 貞夫																																		
藤井 敏生	笹目 雄一	谷仲 和雄	植木 弘子																																		
長島 主	山中 光枝																																				
高野 雄司	新谷 大輔	小島 健一	笹木 倫代																																		
加瀬 博正	長谷川正典	皆藤 正造	鈴木 定男																																		
比気 龍司	小林 利英	田山 伸一	田村 直弥																																		
協 議 案 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本設計プランについて</li> <li>・平成28年度スケジュールについて</li> </ul>																																				
会 議 資 料	別 紙 ( 会議次第、 他 )																																				
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録																																				
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開    (傍聴者 2 人)																																				

【協 議】

(1) 基本設計プランについて

委員長 まず、基本設計プランについて、事務局より説明をお願いしたい。

事務局 基本設計プランについて、コンサルタントから詳しい説明を行うが、その前に前回の委員会であった意見について、おさらいしたい。

まず、前回までの設計概要としては、既存の小川南中学校の校舎を解体し、同じ場所に3階建ての校舎を建設する。内部の廊下幅を広くとり、そこに光採りのための吹抜けや広いスペース、パソコン等を置いて子供たちが自由に調べ物をしたり、学年集会を開くことの出来る空間を設けていた。その南側に普通教室、北側に特別教室を配置するプランだった。これについて、委員からは、「吹抜けをつくる事で視界が悪くなり、子どもたちの様子を見づらくなる。」という意見や「廊下に物が置いてあると、配慮を要する子どもたちが危険である。」などの意見をいただき、学校側と再度協議を行い基本設計をまとめることとなった。以上のことを踏まえ、設計の基本コンセプトは変更せず、見通しの良い廊下にした設計プランを作成したので、コンサルタントから説明したい。

資料に基づき、匠建築研究室より説明

○プランEの説明

E案：3階建て 長方形 多目的スペースを普通教室の窓側（南側）に設置  
（前回の委員会での意見を踏まえ、学校と検討を重ねたもの）

<D案からの主な変更点>

- ・校舎を既存校舎よりも南向きに設置
- ・普通教室の窓側に多目的スペースを併設
- ・諸室の配置変更
- ・校舎左右及び中央に階段を設置
- ・特別支援教室の増加
- ・スクールバス回転場所の拡大
- ・見通しのよい直線廊下（中廊下型）へ変更

委員長 質問はいかがだろうか。

委員 太陽光発電を活用するということだったが、どの程度の容量のものを活用するのか。また、ソーラーパネルの耐用年数はどのくらいなのか。

事務局 現在は基本設計の段階であり、太陽光パネルを設置するといったところまでのイメージとして示させていただいている。容量などの詳細は、平成28年

度の実施設計で検討していきたいと考えている。耐用年数についても、その中で調査を行い、設計に反映させていきたい。

委員 各教室の窓際にプラスする形で多目的スペースが取られているが、この部分の仕切りが引き戸ということか。

匠建築 クラブルームと多目的スペースの間に仕切りはない状況となっている。多目的スペースが教室に対して、プラスアルファの部分になる。平面図では、窓側の柱が多目的スペースとの区切りになっている。見た目は、ほとんどワンルームとなる。引き戸の箇所は、隣の教室の多目的スペースとの間仕切りの部分となる。隣の教室との仕切りをオープンにすることによって、例えば2クラスを3つのグループに分けての授業などが出来るようになる。

委員 引き戸の幅はどのくらいなのか。

匠建築 約2.5mとなっている。実際の事例ではオープンにして使うことは少なく、各クラスで使っていることが多い。

委員 普通教室の窓際に多目的スペースを配置したことについて、教職員の考えを伺いたい。また、校舎の前方に配置した道路は歩行者だけのものか。

匠建築 基本的に車が通ることは想定していない。救急車や消防車などの緊急車両が通れる6m程度の幅は用意している。

委員 車両入口から職員駐車場へ行く場合、校舎裏を通ると思う。坂の下から登校する児童と車が校内で交差するということか。

匠建築 子供達が入ってくる時間帯は既に先生方が出勤しているため、基本的に歩行者と交差することはないだろうと考えている。

委員長 では、先ほどの件について教職員の考えをお願いしたい。

委員 前プランで提案いただいたメディアホールと比べ、今回のプランは教室として使うということが多いという話もあり、使い勝手が良さそうだと思う。

委員長 子供達が常時過ごしている場所は教室なので、教室を広く取ってほしいという要望を出していた。教室が更に広がるので居心地が良くなるとともに、校舎が以前より南向きになり、普通教室が南側に位置しているため、明るく広い空間で子供達が過ごせる。また、学習が進歩していった際、教室間の間仕切りを開いて使うことができる。

委員 では、机が隙間無く並んでいるのではなく、少し余白があるということか。

委員長 余裕がある教室になっていると思う。

委員長 期限も限られている。可能であれば、方向性を出して次のステップに進まなければならないということもある。意見があればこの場で伺いたい。

委員 今回、私は初めての委員会参加となるが、いただいた会議録等を読ませていただいた。これまでの議論を踏まえて、前に進んでいただくということをお願いしたいと思う。

委員長 他に無ければ、委員会としては、この方向でいくということによろしいか。

異議なし

(2) 平成28年度のスケジュールについて

委員長 平成28年度のスケジュールについて、事務局よりお願いしたい。

事務局 建設関係については、先ほど承認いただいた校舎の基本設計を基に実施設計へ移行していく。実際に校舎建設に使用する資材など、詳細を詰めていく作業となるので、適宜、進捗状況の報告をするとともに、スクールバスの回転場や外構工事などに関する意見をいただくことになってくる。また、来年度からは、建設だけでなくソフト面の検討も始めたいと考えている。主な検討事項としては、校名案の検討や通学体制がある。また、年度切り替わりにあたり、各組織の役職交代に伴う新委員への委嘱も予想されるため、平成28年度の第1回統合準備委員会の開催時期については、6月ごろを見込んでいる。今年度と同じように事前に通知等を送付させていただくので、よろしくお願いしたい。

委員長 質問があればお願いしたい。

質 問 な し

委員長 では、平成28年度は6月ごろからということをお願いしたい。

【その他】

事務局 その他について、3点説明、報告させていただく。

1点目、旧小川高校を改修して、新小川南中学校とする案件の状況だが、空調設備に防衛補助が活用できることとなり、国からは、来年度ではなく今年度に前倒しして予算をつけられるよう努力するとの話をいただき、それを前提に開校時期を予定では、平成28年9月としていた。しかし、国より努力したものの今年度への前倒しは難しいとの回答があり、その結果、平成27年度での予算措置はかなわなかったものの、平成28年度の補助として、4月早々に補助金交付申請及び交付決定手続きを優先して進めていただけたことになった。このため、開校が平成29年4月予定となった。

なお、小川南中学校跡地の小川小・橘小統合小学校の建設計画だが、当初計画のとおり平成31年4月に開校できるよう進めていく予定である。

2点目、広報について説明させていただく。

今年度は、これまでに地域住民や保護者向けに統合準備委員会だよりとして、広報紙を3号まで発行させていただいた。広報紙は、委員会開催後に順次、小川小・橘小学区の区長便での回覧や幼保小中を介して保護者の方に配布をしている。今回の委員会の協議内容及び先ほど報告させていただいた小

川南中学校の移転についても次号、第4号の委員会だよりにおいて、周知を図っていく。第4号の発行時期については、4月7日を予定させていただきたい。

3点目、委員がお持ちの資料、ファイルについて説明させていただく。来年度も継続して委員となる方はそのままファイルを使用させていただきたい。新たに委員となる方には、事務局が現委員が持っている資料と同じものを用意させていただく。

委員長 学校からの委員選出については、4月に入ってから報告でよろしいか。また、PTA会長が代わった場合には入れ替えるということでもよろしいか。

事務局 はい。

委員 元気っ子幼稚園の来年度のPTA会長が野田小学区在住の者になった。そこで、小川小・橘小統合準備委員会に参加するののかという話になった。元気っ子幼稚園には7人のPTA役員がおり、その中で小川・橘小学区の者は3名いる。もしその3人で良ければ、そのように選出してよろしいか。

委員長 事務局預かりとして後ほど回答という形でよろしいか。それとも決定してよろしいか。

委員 野田小学校なども今後、統合の準備を行う形になっていくと思うので、参考までに参加しても良いのではないかと考えた。

事務局 平成27年度統合準備委員会には、元気っ子幼稚園PTAの代表として、PTA会長、副会長に参加いただいている。来年度のPTA会長が野田小学校区在住ということだが、この小川小・橘小統合準備委員会については、来年度に通学体制や校名案などのソフト面を検討することになっており、小川小学校区及び橘小学校区の方に検討していただくことを基本としている。そのため、PTA会長、副会長に限らず、PTA役員の中から小川小学区、橘小学区の方を選出し、事務局から新たに来年度委嘱させていただくということ考えている。会長職にこだわらず、小川小・橘小学区の保護者、これから統合小学校に入学する未就学児の保護者を基本として考えている。なので、参考までにという話もあるが、対象学区の方に入らせていただきたい。地元の意見を出していただき、検討を進めていきたいと考えている。新たな委員については、事務局で元気っ子幼稚園と調整させていただき、新委員の選出を考えていきたいと思う。

委員 現在の1年生が5年生になった時に新しい小学校に通学するようになる。既に議論が出ているかもしれないが、今から入学する子供達は、ある程度体操服も揃えるといった話は出ていないか。それとも開校後1、2年ほどであれば、現状の体操服を使用するというのも考えられるのではないか。保護者としては、1人目の子供が入学した場合に2人目、3人目の子供も体操服を使用すると考えると、小さいサイズでも新しい学校の体操服が入手できた方が良いと思う。他の協議と併行して討論をしていただけると助かる。

委員長 前倒しで決めることも1つの手かと思う。

委員 統合に向けて、まとまりができるということもあるのではないかとも思う。

事務局 スケジュール案を見ていただくと、中段に総務・通学部会があり、平成27年度から30年度までに協議していく事項の記載がある。先ほど、28年度は校名案や通学体制の検討という説明をしたが、その総務・通学部会の中に体操服や制服の有無などの検討がある。当初のスケジュールでは、平成29年度から協議に入るという計画を立てている。前もって検討をお願いしたいという要望をいただいたので、当初のスケジュールをベースにし、その時々  
の状況によって対応が可能であれば検討したいと思う。

19:43 閉会